

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ウィズ発達支援センター 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年12月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 27名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 14日		～ 令和8年2月4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人理念を念頭に置きながら「大人になったらはたらこう」を常に意識して取り組みと活動をしています。	・それぞれの成長段階に合わせ、挨拶や整容、コミュニケーションスキルや自己選択等、また、活動においてはその場でのルールやマナー等を守ることができるように将来それぞれが働く為に必要なスキルを意識した取り組みと活動を実施しています。 ・法人内他事業の就労作業活動を学校休業日等に体験として取り入れています。	・ご家庭や学校、他事業所等と支援方針について共有を行ない、相談支援専門員が作成する利用計画に基づいた支援計画を作成し、一人ひとりに合わせた支援を実施していきます。
2	・室内活動だけでなく、屋外活動を多く取り入れています。	・地域のイベントへの外出や季節を感じることができるといような屋外活動(海や川遊び、雪遊び、農園活動等)を実施しています。	・社会資源に目を向け、参加できる活動や利用者の要望を踏まえつつ、地域交流活動の機会等を今後も積極的に取り入れていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・利用者の定員に対して施設が手狭と感じます。	・現在使用している場所は狭く、定員の10人に対して活動する内容によっては危険と感じることもあります。	・来年度より隣地に移転し、現在より利用スペースは広くなる予定です。移転した後も屋外活動は利用者の要望も多く減らすことなく継続していきます。
2	・放課後児童クラブや児童館との形としての交流については現在機会はありません(地域のイベントや屋外活動でその場で一緒に活動をする機会があります)。	・地域校利用の方については児童センター併用の方もいる中、どのようなタイミングで交流すべきなのか、また普段の機会以外での交流の必要性については難しいと感じています。	・今後も自立支援協議会等にて懇談を重ね、相互理解を深め必要性について検討していきます。
3	・保護者会の実施。	・保護者の要望を確認する中で必要性が分かれているため、保護者会の実施には至っていません。	・3月に施設内覧会も兼ねて保護者会を実施する予定です。その中で出席率や実施内容、必要性を改めて確認していきます。